

「環境・社会報告書2006」アンケート結果

ご感想 (2.3.は複数回答)

(回答者数:21名)

1. 全体

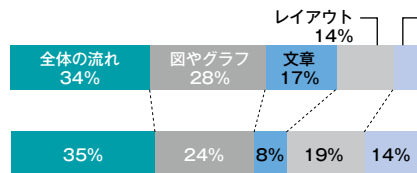
2006 アンケート



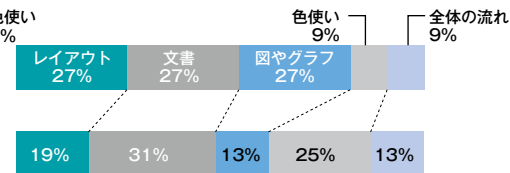
2005 アンケート



2. 評価できる点



3. 評価できない点



関心の高かった項目 (複数回答)

タイヤ(10) / 地域社会と共に(10) / 廃タイヤ・3R(8) / 社長メッセージ(6) / 環境経営(6) / サイト情報(6)

主なご意見、ご要望

社長メッセージから環境重視の姿勢が伝わる / 環境に真剣に取り組んでいることが理解できた / ハイライト2006で全体のサマリーがわかった / 環境の担当者の顔が見えて良かった / 文字が小さく読みづらい(2名) / 専門用語が多い(2名)

改善点

流れをシンプルに

さらに全体の流れをわかりやすくするため、「環境への取り組み」の流れをシンプルにしました。

文字を大きく

文字が小さい、もっと読みやすくとのことにご要望に応え、文字を大きくし余白の多いデザインにしました。

行動が見える工夫

環境貢献活動が社内に定着しつつあることを、従業員の行動で紹介するページを設け、人を多く登場させました。

サマリーを増加

2006年度の概要を簡単にご理解頂くため、「環境への取り組み」、「社会との共生」の章冒頭にサマリーを掲載しました。

編集後記



取締役兼常務執行役員
秘書室・企画部・広報部・経理部・
情報システム部・内部統制推進室担当兼
横浜マコーポレーション オブ
ノースアメリカ取締役社長
環境・社会報告書編集委員長

小島 達成

「環境・社会報告書2007」をお読み頂き、ありがとうございます。本年度は特に次の3点に力を入れて編集に当たりました。

1. 地球温暖化防止への努力

「トップレベルの環境貢献企業」を目指す横浜ゴムグループは、「地球温暖化防止」に向けた活動を強化しています。その具体的な活動内容をお知らせするよう心掛けました。

2. 読みやすい報告書

とかくCSRに関する報告書は難しくなりがちです。読者アンケートでも「もっと読みやすく」とのご意見を多数頂戴しています。こうした反省から、本年度から文字を大きく、文章量も大幅に削減しました。

3. 信頼性の向上

報告書の信頼性を高めるため、本年度から(株)新日本環境品質研究所に監査をお願いしました。昨年度は「第三者所見」でしたが、本年度は「第三者保証」を頂いています。

私ども横浜ゴムグループは、環境をはじめとしたCSRへの取り組みを強化すると共に、活動について、わかりやすく情報開示を続けてまいります。皆さま方には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。